平成３０年度第１回富山市交通空白輸送地域公共交通会議　議事録

１. 日時　平成３０年８月２０日（月）１４：００～１５：００

２. 場所　富山市役所　東館３階　自治振興会室

３. 出席状況

【出席者】

団体名等	職名	氏名	備考
金沢大学理工学域環境デザイン学類	教授	中山　晶一朗	
富山市自治振興連絡協議会	副会長	森口　正行	
富山地方鉄道株式会社自動車部運行管理課	課長	林　裕一	
全国自動車交通労働組合富山地方連合会	執行委員長	石橋　剛	
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局	首席運輸企画専門官	開田　慎	
富山県警察本部交通部交通規制課	課長	専徒　勝司	
富山県観光・交通・地域振興局総合交通政策室	次長	鈴木　邦夫	
富山県富山土木センター	次長	釜谷　靖	
富山市活力都市創造部	部長	高森　長仁	

【説明者】

・株式会社まちづくりとやま　第一事業部部長　山形　昌仁、部長代理　中島　雅樹

【事務局】

・富山市活力都市創造部交通政策課　課長 村井　真哉、課長代理 片山　尚之、
主事 加藤　陽子

４. 議事

・議決事項

議案第１号　まいどはやバス「中央ルート」の停留所移設等について

議案第２号　富山市コミュニティバス　大庄循環線試行運行について

・報告事項

報告第１号　まいどはやバス「中央ルート」社会実験について

５. 資料

・会議次第　　・委員名簿　　・会議資料

・付属資料　　・富山市交通空白輸送地域公共交通会議設置要綱

議案第１号　まいどはやバス「中央ルート」の停留所移設等について

【資料説明】株式会社まちづくりとやま

【意見・質問要旨】

（釜谷委員）
　バス停を移設することによって、例えば、今までグランドプラザ前から乗っていた人は新しい場所では分かり辛くなるかと思うが、何か案内はされるのか。

（（株）まちづくりとやま）
　前のバス停に案内板を設置し、新しいバス停へ誘導予定である。また、富山市広報においても変更について告知を行う予定である。

（開田委員）
　「森記念秋水美術館前」のバス停は、進行方向に対して右側にバス停があるが、１箇所だけの設置でよろしいか。

（（株）まちづくりとやま）
　その通りである。この道は一方通行であり、まいどはやバスは一方向の運行であるため、１箇所の設置で考えている。

（鈴木委員）
　バス停の名称についてだが、ぐるっとバスは「森記念秋水美術館」となっている。一方で、まいどはやバスは「森記念秋水美術館前」となっており、同じ場所のバス停で名称が異なるのはどうなのか。「前」がついているか、ついていないかで意味が異なる場合がある。「前」がついている場合は、道路上にバス停を設置、「前」がついていない場合は、敷地の中まで入るというような区別の仕方をしている地域もある。それに照らすと、名称が異なると、場所が異なるように見える可能性がある。

（（株）まちづくりとやま）
　名称については再度検討したい。

（中山会長）
　ぐるっとバスはどのようなルートで運行され、バス停はどこに設置されているのか。

（(株）まちづくりとやま）
　まいどはやバスの変更ルートと同じルートで美術館前を経由している。資料５ページの写真に写っているバス停が、ぐるっとバスのバス停である。

（中山会長）
　まいどはやバスのバス停はぐるっとバスのバス停の横に設置する予定か。

（(株）まちづくりとやま）
　森記念秋水美術館にも確認は必要だが、その辺りでと考えている。

（中山会長）
　同じ場所に設置するなら同じ名称の方が良いのではないかと思う。

（富山市）
　真横のバス停ということもあり、再度調整して進めたい。

（中山会長）
　「グランドプラザ前にいかわ信用金庫」バス停は、私有地に設置されるということだが、花壇に設置するのか。

（(株）まちづくりとやま）
　精算機と植込みの間を考えている。

（中山会長）
　大和は目の前のバス停が無くなることになるが、そのことについて何か意見はあったのか。

（(株）まちづくりとやま）
　警察から大和にも連絡がいっており、すぐにでも移動してほしいという要望があった。

（石橋委員）
　「森記念秋水美術館」バス停について、一方通行の道の右側に設置されるということだが、乗客は右側でバスを待つことになるのか。バスの乗降は左側で行うため、一度渡ってもらう作業が必要になるのか。それとも最初から左側でバスを待ってもらうのか。運転する側からすると、少々違和感がある。

（(株）まちづくりとやま）
　屋根などあることを考えると、恐らく右側のバス停側で待たれ、バスが近づいてきた時に左側へ移動されることになるだろう。移動が危険無くできるよう配慮いただいて、停車することになるだろう。

（中山会長）
　ぐるっとバスも同じような運用がなされているのか。

（林委員）
　乗客の方に危険が無いよう配慮し停車している。

（石橋委員）
　左側には駐車場があるため、バス停は設置できないのだろう。

（高森委員）
　一方通行の道の場合、右側によって停車するのか、左側によって停車するのか。右側によって停車すれば、道路を横断するほどでもないように思われるが。

（石橋委員）
　右側によって停車すると、道路の中央で乗り降りすることになり、かえって危険ではないかと思う。

（高森委員）
　では、やはり左側によって停車するのだろうか。

（林委員）
　確認する。

（中山会長）
　基本的にバスが停車していれば、他の車両は通れないのではないかと思う。

（(株）まちづくりとやま）
　実際にぐるっとバスで運用されているため、一度確認し、危険が無ければ、ぐるっとバスに準ずる形にさせていただきたい。

【議決】原案のとおり承認

議案第２号　富山市コミュニティバス　大庄循環線の試行運行について

【資料説明】富山市

【意見・質問要旨】

（鈴木委員）
　１つ提案である。大庄循環線は開発駅前に発着するということで、既存路線を確認してみたところ、富山地方鉄道㈱の４３、４４、４５系統という３路線があった。大庄循環線の１便と３便の開発駅着時間は、１０時２分と、１４時２分となっているが、１０時３分に４４系統、１４時１分に４５系統の富山駅行の路線バスがある。総曲輪や市民病院へ行くことを考えると、鉄道よりバスの方が便利であるが、現状では１、２分程度の差で接続できない状況になっている。前後の車両運用の関係もあるとは思うが、数分の問題であるため、路線バスとの接続についても検討をしていただけたらと思う。

（富山市）
　地元要望を踏まえながら、鉄道線との接続をメインに検討してきた。鈴木委員がおっしゃるように、路線バスとの接続によって、路線バスの利用という住民の選択肢も広げていけるということを踏まえて、検討していきたい。

（中山会長）
　時刻について、動かせる余地はあるのか。

（富山市）
　前後の運用も関係するが、なるべく利用者が選択をできるような形で考えていきたい。

（中山会長）
　大庄循環線の路線について、細かく回るという点は良いが、少し複雑に感じる。８の字を描いたり、逆回り運行したりするというのは地元の要望なのか。

（富山市）
　地域を網羅し鉄道駅をタッチしながらの路線となっているが、地元の意見を最大限踏まえた検討案となっている。

（中山会長）
　減便する便は利用者が少ないということだが、新しい路線について、地元からの要望

があったとはいえ、どれくらいの利用を想定しているのか。

（富山市）
　大山地域の市営コミュニティバスについては、富山市内の中でも非常に利用率が低い。大山地域の１日あたりの乗車人数を念頭に置きながら、試行運行の実績を踏まえた上で検討する必要があると考えている。大山全体の利用率を下回った場合は、今後について考えていかないといけないと認識している。

（中山会長）
　試行期間というのはどれくらいを想定されているのか。

（富山市）
　最低でも１年と考えている。１年の実績を見た上で今後について判断したい。

（中山会長）
　本数も多くなく、重複している区間も長くはないとは思うが、路線バスや鉄道への影響は考えているのか。

（富山市）
　ルート検討に際して、富山地方鉄道（株）の鉄道部門及びバス部門に影響はないかを検討いただいき、了解いただいた。

（林委員）
　どちらかというと、鉄道と同じ区間を走ることもあり、心配する面もあったが、鉄道のダイヤにもあわせて運行されるということで、相乗効果を見込めるのではないかと考えている。

（高森委員）
　会長からのご指摘のとおり、路線が複雑であり、利用者も一瞬戸惑うだろう。地域からの要望という話もあったので、ダイヤ表とは別に、地域のニーズが高い目的地を中心とした、利用促進を目的とした特徴のある時刻表を作れば、少しでも利用が伸びるのではないかと思う。ぜひ工夫した利用促進に取組んでいただきたい。

（開田委員）
　提案だが、目的別時刻表というものがある。例えば、今回の場合だと、大山病院を中心に、大山病院へ向かうバスは〇〇方面から〇時、病院から〇〇方面へ向かうバスは〇

時といったような、目的別中心の時刻表を作って、病院や駅等に置けば、地元の方も分かりやすい。あれもこれもと時刻表を見比べるよりも、行きたい場所があるので、そこを中心に作成した方が分かりやすいと思う。

【議決】原案のとおり承認

報告第１号　まいどはやバス「中央ルート」社会実験について

【資料説明】（株）まちづくりとやま

【意見・質問要旨】

（中山会長）
　１周が４０分になったが、遅延は見られるのか。

（（株）まちづくりとやま）
　降雪時は他の公共交通同様に若干見られたが、事故等を除けばそれ以外で目立った遅延は報告されていない。パターン通り運行している。

（中山会長）
　社会実験は１年間行う予定だが、今後の見通しはどのようになっているのか。

（富山市）
　８月７日にまいどはやバスの検討会を開催した。その場で、パターンダイヤによりダイヤが分かりやすくなった、運行本数やバス停が増え便利になった、というメリットになる部分が意見としてあった。今後はそういった部分を地元にしっかり周知し、利用率を更に上げ、それによって運賃収入を増加させ、㈱まちづくりとやまの負担軽減につなげていければと考えている。

（以上）